

第39回 青少年夏のつどい オーバーナイトハイク全体説明会 報告書

夏のつどい部部長 梅林明日香

◇実施日◇ 2023年 7月9日(日) 13:00~16:00
柏市青少年センターにて 司会:西 隆夫(夏つど副部長 五中)

◇参加者◇

◎相談員... 94名
◎賛助会... 7名
◎行政... 2名
◎協力者... 19名
◎東葛高校生徒... 3名

総参加者数...125名

1. 大会会長挨拶 中川 早苗(会長 二中)

皆さん、こんにちは。本日はお集まりいただきまして本当にありがとうございます。また行政からは沖本課長、高丸職員。賛助会からは大瀬会長、青木さん、中川さん、オカダさん、マスダさん、タカムラさんご出席本当にありがとうございます。そして協力者の皆様、21期相談員の皆様お集まりいただきましてありがとうございます。全体会が始まるともうすぐ夏が来るんだと毎年思います。毎年毎年夏はやってきます。同じ夏というものは絶対ないんです特に今年は皆さん特別な夏になるのではないのでしょうか？規制も解かれて会いたい人に会える夏、行きたい所に行ける夏、やりたい事がやれる夏そんな夏になるのではないのでしょうか。いい思い出が出来る夏になると思います。さて、第39回青少年夏のつどいオーバーナイトハイクですが4月から本日まで色々な準備をして参りました。中学生に募集をした所360名の子供達が参加してくれる事になりました。その360名の子供達の為に私達は何が出来るんだろう？それは今日のこの全体会で色々な事を聞いてまず第一に安全、これは基本になると思います。そして安心して楽しめるイベントにしていかなければならないと思っております。私は相談員の会長としていつも事業をする時に覚悟はきめております。19期会長だった嶋田さんが全体会で言った言葉があります。「全責任は私がとります。なので皆さん一生懸命張り切って子供達の為にやってください」どうぞ宜しくお願い致します。

2. 来賓挨拶 柏市教育委員会生涯学習部生涯学習課 課長 沖本 雅樹 様

皆さんこんにちは。生涯学習課長をしております沖本と申します、宜しくお願いします。みなさまにおかれましては青少年の健全育成に日頃よりご尽力賜りまして誠にありがとうございます。さて本日はオーバーナイトハイクの事前説明会という事ですが、本番まであと一か月足らずとなりました。オーバーナイトハイクとしましては昨年度がなかったもので4年ぶりの開催となります。本番まで引き続き宜しくお願いいたします。さて、昨年度もこの場に出席させていただきましたが、その時のみなさんの熱意にうたれて本当にあつかったと感じています。そんな中説明会を聞いていて高揚してきたように感じています。会長からのお話にもありました360名の応募があったと聞いております。私が生涯学習課に移ったのが4年前です。コロナが始まった年でもあります。まだ1回もオーバーナイトハイクを私は体験していません。今年は60周年の年でもあります。私もなんとかみなさんと同じように何が何でもオーバーナイトハイクを開催したいという気持ちが強くあります。行政としても最大限の努力をして参りたいと思っております。さて、この事業の主役は子供達であります。またこの事業の醍醐味はゴールに辿り着いた事に対する達成感そしてそこに至るまでの仲間との助け合いなどで他に代えがたいものであります。本番まで1ヶ月を切ろうとしています。コロナもありました今までは違いますが8月19日の本番が迎えられる事またオーバーナイトハイクが無事成功できる事を念じまして簡単ですがご挨拶とさせていただきます。

来賓挨拶 柏市青少年相談員賛助会 会長 大瀬 宏美 様

皆さん、こんにちは。お暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。オーバーナイトハイク私もかれこれ四半世紀携わっておりますが4年ぶりの開催という事で今回初めて経験される方もいるかと思えます。やるまでは不安ですけど、終わるとすごい達成感とはまってしまう、来年もまたやりたいと思ってしまうのではないかなと思えます。子供達とのコミュニケーションの取り方という事でなかなか実際に子供をふれあう事って少なくなってきたその中で相談員のみなさまは地域の子供達と関わっていただいている事をすごく感謝しております。今回このオーバーナイトハイクも中学生の子供達と一晩一緒に歩きながらおしゃべりしながら過ごすのですけれども今の想いとかも聞けるというすごく素晴らしい事ではないかなと思えます。どうぞ楽しみにやっていただきたい、私達賛助会のメンバーも年々歳をとって老体に鞭を打ちながら協力させていただきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

3. 責任者紹介...本部・同行・バイク隊・救護車・同乗者・救護・休憩所の責任者の紹介

大会会長	中川 早苗 (二)
夏のつどい部部长	梅林 明日香 (柏)
本部統括	河野 拓也 (松葉)
バイク隊リーダー	谷口 聖 (豊四季)
緊急時対応	神長 幸博 (富勢)
グループリーダー A	高橋 裕馬 (富勢)
〃 B	日向野 幹太 (逆井)
〃 C	佐藤 周子 (大津ヶ丘)
サブリーダー A	西 隆夫 (五)
〃 B	都竹 高広 (四)
〃 C 兼 同行リーダー	古賀 元樹 (二)
救護要請オペレーター	山本 美杉 (豊四季)
救護車責任者	杉浦 亮 (風早)
救護車同乗者責任者	島本 貴子 (酒井根)
本部救護責任者	平川 ルミ (酒井根)
休憩所責任者	飯島 祥江 (田中)
スタート・市立柏・ゴール	岩淵 弘美 (豊四季)
富勢東小・十余二小	山本 紫織 (光ヶ丘) 水野 めぐみ (四)

4. 概要説明

☆夏のつどいに向けて...梅林 明日香 (夏のつどい部部長 柏中)

皆様、本日はお集まり頂きましてありがとうございます。本日は長い時間にはなりますが皆様のお時間いただきましてオーバーナイトハイクのご説明をさせていただきたく思います。どうぞ宜しくお願い致します。

まず今年度のオーバーナイトハイクの参加者募集をした所、360名の応募がありました。過去をご存じの方は少ない人数と感じる方もいらっしゃると思いますが、4年ぶりの開催となる今年度、私といたしましては再起動させるに相応しい人数なのではないかととても嬉しく思っております。応募してくださった方の安全を守る事が基本と考えて進めていく中でオーバーナイトハイクって何でやってるの?と私個人とても多く質問をいただく事があります。情けない事にそれに答えられるだけの経験値がないので開催要項に載せている趣旨を私自身よく考えてみました。開催要項には「多くの人とふれ合い、お互いに励まし合いながらゴールを目指します。約30kmという距離を歩く体験を通して、目標に向かって歩み、それをやり遂げる達成感などの様々な思いを感じて、子どもたちが健やかに成長していくことを目的とします。」とあります。私の考えとしましては達成感はもちろんですが、完歩できなくてもいい、救護されてもいい。様々な思いを感じてそれがその子の経験値となり、経験したからこそ味わった事実が残ります、私は常日頃から経験する事が大切と思っています。経験したからこそ味わった気持ちがその子の糧となり、健やかな成長の助けになると信じています。忘れてはいけないのが安全第一。大きなケガなく事故なく参加者皆さん無事にお家にお帰りいただく事が何より大切と皆様共通認識をもっていただいで無事成功を目指してお力をお貸し下さい。宜しくお願い致します。

☆ONH全体概要・スケジュール・本部紹介

* 本部・本部救護・救護車・休憩所・バイク隊・同行から構成

* 3グループ体制 スタート間隔を一時間に設定

→Aグループ20:30 Bグループ21:30 Cグループ22:30

☆同行注意点

* 声掛けの重要性

→ポール、段差、自転車等に対して また、住宅街での私語注意

* 土手入り口

→学区ごとに列をまとめる

* ルート変更箇所について

☆救護およびバイク隊について

* 救護車、各グループに最低1台 全グループで6台

* バイク隊、各グループに2~3台

→必ず隊列の後ろから追い抜く動き方

→足りない所もあるのでしっかり道を覚え同行も誘導しながら

☆学区説明会

* 事前配布...タオル、しおり、保護者の皆様へ

* 基本的にはしおりに全てが載っているのでそちらの説明で十分

☆緊急時の連絡体制および中止判断

* 開催可否のタイミング、メンバーの共有

* 中止マニュアルを元に判断

* 連絡が重複するかもしれないが伝わる事が大切

☆写真撮影・東葛高校放送部の紹介

* スタート受付後、旧そごう前で学区集合写真の撮影

* ゴール後グループ毎に集合写真

5. 質疑応答

・完歩パンについて

・救護の仕方について

・集合写真について

・休憩所の記入やタイミングについて

5. 分科会(担当別打ち合わせ)

各担当に分かれ、活動内容の説明。連絡先交換。今後の円滑な準備を目指す

全体会欠席者への資料配布→欠席者への活動内容周知

・同行 古賀元樹

・休憩所 山本紫織・高木祥江・岩淵弘美・水野めぐみ

・バイク 谷口聖

・救護車・同乗者・本部救護 神長幸博・杉浦亮・平川ルミ

・本部 河野拓也

